

平成30年度 すっぴんの会「吃音のある子と保護者の交流会」開催

1月26日(土)に「第17回 すっぴんの会(吃音のある子と保護者の交流会)」が開催されました。会場は、いわて県民情報交流センター「アイーナ」で、県内各地のこたばの教室や幼児教室から、13家族、保護者、担当の先生方、教室の先輩、先輩保護者、ボランティア合わせて59名が集まりました。

子どもたちは、いろいろな学校の子と一緒にグループに分かれ、レクリエーションを楽しみました。初めは緊張気味の顔もどんどん笑顔になり、思いっきり楽しんでいる様子が見えました。

保護者は、子どもの年齢に近いグループに分かれ、先輩のお母さんにも入っていただき、体験談を交えて話をしていただきながら、日頃かかえている悩みを語り合い、思いを共有したり、新しい見方や考え方を交流したりすることができました。また、全体交流では、先輩のお母さんから、子どもが安心できる関わり方を、こたばの教室卒業生から、親が支えてくれたことやこたばの教室の先生がたくさん話を聞いてくれたこと等、参考となるお話をいただきました。

参加した保護者から、「同じ不安や経験を持っている方や先輩のお母さん、吃音をもっていても立派に大人になった方のお話が聞けて、自分の気持ちが楽になりました。」という感想をもらいました。

毎年、遠くから参加してくださる親子もあります。ガチガチに冷え込んだ寒い日の開催となりましたが、帰りには子どもも保護者も心が軽くなったようなほっこりとした暖かな表情でした。この交流会が、吃音へのよりよい理解への一助となり、子どもたちと保護者の笑顔が広がることを願い、また来年も開催いたします。



子どもたちのレクリエーションの様子



保護者は前半、3つのグループに分かれて交流



全体交流で先輩や先輩のお母さんの話を全員で聞く

平成30年度 やまびこ会「学習会」開催

12月22日(土)に「平成30年度 やまびこ会(岩手県難聴者の会)」が開催されました。会場のアイーナ・岩手県立視聴覚障がい情報センターには、やまびこ会会員と県内のきこえの教室の児童・生徒と保護者・先生40名程が集まり、講演会と交流会を行いました。

講演は、やまびこ会会員の菊池樹理さんから「聴覚障がいの娘に伝えたいこと」と題した話をしていただきました。娘さんのバレーに打ち込む姿のビデオを見てから、母親としてがんばってきたことや職場で苦労されたこと等を少しユーモラスに話していただきました。最後に、娘さんに伝えたいこととして「障害があるためにできないこともあることや、具体的に必要なサポートを求める意思を伝えること、困難を自力で解決する力をつけてほしいこと」と力強く話していただきました。

交流会では、参加した保護者が現在困っていることや聞きたいことについての交流と子どもたち同士の交流を行いました。きこえの教室の先輩であるやまびこ会の方々の話は、今の子どもや保護者にとって大変貴重な情報となりました。



やまびこ会 中村会長挨拶



講師 菊池さん



参加者の様子



交流会の様子

平成30年度NPO法人全国こたばを育む親の会東北ブロック研修会・代表者会議

【期 日】平成30年11月10日(土)・11日(日)

【会 場】プラザおでつて(盛岡市) 盛岡市中ノ橋1-1-10 TEL/019-604-3300

東北ブロック内の青森・岩手・宮城・福島の親の会役員が集い、岩手県こたばを育む親の会の共催のもと、研修会と代表者会議が岩手県で開催されました。

11月10日

〈 開会行事 〉



【東北ブロック長挨拶】 【参会者の皆様】 【講師紹介 森田巧先生】



〈 研修会 〉

各県役員のほか岩手県親の会役員や県内各支部からも親や先生方が参加、全難言協元事務局長で東京世田谷区立烏山北小学校の阿部厚仁先生を講師に「難言教育と親の会」と題した講演をお聴きし、研修を行いました。



【講師 阿部厚仁先生】

青森県3名、宮城県1名、福島県2名、岩手県内 親の会役員と担当の先生方 総勢50名出席
子どもたちの気持ちに寄り添いながら、親や先生がどのように関わっていけばよいのか、指導していけばよいのかを、多くの実践事例や経験を通して分かりやすくお話していただきました。大変有意義な研修の機会となりました。

11月11日

〈 代表者会議 〉

菊池義勝顧問をはじめ、ブロック長、青森県1名・宮城県1名・福島県2名・岩手県事務局ら4名の各県代表者10名が出席、平成29年度事業・決算報告のあと各県から教室設置状況や現状と課題の報告を行い、指導体制や親の会活動、ブロック会議の持ち方等について意見交換を行いました。

親の会活動が停滞している県や会が消滅している県について、東北ブロックとしての対応については、現段階では有効な対応策は見いだせませんでした。今後の課題となりました。



【 代 表 者 会 議 の 様 子 】

第35回 幼児期の言語教育研修講座

平成30年8月25日(土)に、県内の幼稚園・保育園(所)・こども園の先生や保健師、学校関係者等のための「第35回幼児期の言語教育研修講座」を「岩手大学」で開催しました。参加者は86名でした。

講演では「ことばを育む」として、昨年度に引き続き 学校法人内丸学園 幼保連携型認定こども園 盛岡幼稚園 園長 坂本信行氏に、幼稚園・保育園(所)・こども園の先生のかかわり方についてお話していただきました。

講座Aでは、「幼児期のことばの発達」として岩手大学教育学部 特別支援教育科 准教授 池田泰子先生に、ことばの発達について詳しくお話していただきました。その後、課題別に3つの選択講座に分かれて研修しました。選択講座B「ことばに関する課題」は、

講師 岩手県立総合教育センター 研修指導主事 平 浩一 先生、選択講座C、「子どもの特性の理解と支援」は、講師 奥州市立水沢小学校 教諭 柴山佑美 先生、選択講座D「幼児教室における指導・支援」は 講師 花巻市教育委員会 幼児ことばの教室 指導員 笹原有美 先生でした。簡単なことばの検査の方法や、発達障害の子どもの理解、幼児期の心を育てるかかわり方等についての研修でした。講座修了後には、現在困っていることや悩み事についての相談にも応じていただきました。参加者のニーズが高い研修会でした。



ご来賓の皆さま



主催者挨拶



祝辞 岩手県教育委員会 様



祝辞 県難言研 様



全体講演・講座の様子



講演 坂本先生



全体講座A池田先生



参加者の皆さま



講座B 平先生



選択講座の様子



講座C 柴山先生



講座D 笹原先生

第41回岩手県ことばを育む親の会親子合宿研修会サマーキャンプin岩手山 開催

今年度のサマーキャンプが7月28日(土)29日(日)の両日、「国立岩手山青少年交流の家」を会場に行われました。

開会行事は、主演友子県親の会会長、小山田 實 実行委員長の挨拶で始まり、岩手県難聴言語障がい教育研究会 副会長 山崎伸一 先生からご祝辞をいただきました。また、岩手のことばを語る会 会長 久保 四男 様にもご臨席いただきました。

〈開会行事〉



主学会長 あいさつ

小山田実行委員長 あいさつ

県難言 山崎副会長 祝辞 参加者116名 スタッフ等58名

<開催要項>



<活動のようす>

活動日程 1 日目【7 月 2 8 日(土)】

活動日程 2 日目【7 月 2 9 日(日)】

時 刻	親		子
12:15～12:45	受 付		
13:00～13:30	開会行事		
13:30～13:45	移 動		トイレタイム
13:45～15:00	講演会	研修室	13:45～14:45
			レクリエーション
15:00～15:15	座談会の会場へ移動		外へ移動 ＜雨天時は、 移動なし＞
15:15～16:45	座談会 ことば1 ことば2 ことば3 きこえ きつおん はったつ1 はったつ2		ビンゴウォーキング ＜雨天時＞ 館内ウォークラリー
16:45～17:00	子どもの 迎え	ホール	中へ移動
17:00～17:30	移動・部屋荷物整理・ベット作り		
17:30～18:30	夕 食 ・ 入 浴		
19:30～20:30	交流会		おはなし会
20:30～21:00			宿泊棟へ移動
21:00～	就寝準備・就寝		

時 刻	親子一緒に活動
6:30～7:30	起床・洗面・清掃
7:30～8:30	朝 食
8:30～9:00	荷物移動
9:00～9:30	親子ふれあい体操
9:30～10:45	親子制作活動 (万華鏡作り) ※親子でグループ毎に集合。 1人1個ずつ制作。
11:00～11:20	活動のふりかえり (持ち物：筆記用具)
11:30～11:50	閉会行事
12:00	解 散

子どもの活動

1 レクリエーション 講師:岩手県教育レクリエーション研究会事務局長 室岡 秀典 先生



2 ビンゴウォーキング 外に出て、班ごとに数字の看板を夢中になって探しました。

子どもたちが大変がんばった活動でした。

3 おはなし会 牟岐茂里雄先生の絵本の読み聞かせを聞きました。

その後、日本昔話等の映画を見ました。

静かに鑑賞し、日中の疲れから眠ってしまった子もいました。

親の活動

1 講演会 講師:すまいるコミュニケーション代表 大村 洋子 先生

演題:「“できる”を信じる子育てのすすめ」

参加者の感想より

- ・子どもへの言葉のかけ方、やる気のでる声かけが分かった。
- ・「ことばは心をつくる」は、印象的だった。
- ・親も自分のことを知ることが大事だとわかった。



2 座談会 「ことば」3つ、「はったつ」2つ、「きつおん」、「きこえ」の7つのグループに分かれて行いました。

コーディネーターの先生方に参加者のニーズにそって進めていただき、熱心な話し合いが行われました。

3 交流会 参加者の感想より

- ・他の支部や学校の方の話を聞くことができた。
- ・気をつかわず話すことができた。
- ・これからがんばる元気が出た。

親子の活動

1 ふれあい体操 体を動かしながら楽しく活動しました。



2 万華鏡 作り方は簡単でしたが、完成された作品をのぞいてみると、一人一人違う作品になり、親子や、近くの子供と交換して見合う楽しさもありました。



<閉会行事>



実行委員長挨拶

感想発表 子ども代表

感想発表 保護者代表

感想発表 先生代表



楽しい思い出がいっぱいできました。

今回は、本部主催で行い、盛岡支部・滝沢支部・雫石支部・八幡平支部の親の会の皆さんに、協力員としてお手伝いいただきました。また、指導部や研修部として、たくさんの先生方にもご協力いただきました。心から感謝申し上げます。
再来年は、二戸・一戸・軽米・九戸支部が合同で開催します。自然豊かな環境での充実した研修会を期待しましょう。

平成30年度 県親の会 学習会・総会 開催

6月9日(土)に、いわて県民情報交流センター「アイーナ」において、学習会と総会を開催しました。

ブロック研修会が始まり3年目になります。ブロック毎の研修会ということで、会員の方々が多く参加し、それぞれの地域の課題や会員の悩み等を話し合うことができ、研修や交流が充実してきました。その中で、各支部の支部長の研修の必要性が課題となってきました。そこで、支部の役員や担当の先生方にお集まりいただく機会に、学習会を行うこととしました。

学習会

「通級担当教員の定数化」「インクルーシブ教育システムの構築」と特別支援教育の充実

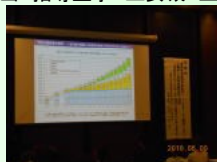
～本県のきこえ・ことば・LD教育との関わりの中で考える～

講師:岩手県教育委員会事務局 学校教育課

特別支援教育担当 指導主事 五安城 正敏 先生



講師の五安城先生



参加者の様子

難しいテーマについて、参加者に分かりやすくお話していただきました。各支部で、これから教育委員会の訪問や要望書の作成の際に役立てていただきたいと思います。お忙しい中、講演していただいた五安城先生に深く感謝申し上げます。

総会

全28支部の代議員出席 総参加者数75名

ご来賓として岩手県難聴言語障がい教育研究会 副会長 山崎伸一 様と岩手のことばを語る会会長 若松三郎様に、ご出席いただきました。

議長を遠野支部の北川祥樹支部長に、書記を越喜来小学校の関谷えり子先生にお願いし、総会をすすめました。29年度の事業や会計の報告と、30年度の活動方針や事業計画と予算について提案しました。全ての案件が承認、可決されました。今年度から県北ブロックは、広域さと交通の便等により、A(久慈・洋野)B(二戸・一戸・軽米・九戸)の2つのブロックに分かれることになりました。



会長挨拶



県難言研副会長祝辞



議長と書記



熱心な参加者の様子



来年度県大会紫波矢巾大会
のお知らせ

岩手県ことばを育む親の会

事務局 盛岡市立桜城小学校きこえとことばの教室内

